

■正しい運転操作 エンジンのかけかた

1. キルスイッチが“RUN”になっていることを確認します。
2. フューエルコックレバーを“ON”にします。
3. メインスイッチを“ON”にします。
4. チェンジをニュートラルにします。(ニュートラルランプで確認してください。)
5. チョークノブをいっぱいに引きます。
エンジンが暖まっているときは、チョークノブを使用する必要はありません。
6. スロットルグリップを $\frac{1}{8}$ から $\frac{1}{4}$ くらい開き、スターターボタンを押します。
通常の場合これでエンジンがかかります。
7. エンジンがかかったら、チョークノブを徐々に戻し、回転がスムーズになるまで暖機運転し、チョークノブを完全に戻してからスタートします。

※この車は、セーフティスターター機構を採用していますので、チェンジが入った状態では、クラッチを切らないとエンジンは始動しません。

